

日本フランス語フランス文学会東北支部大会

総 会 記 録

議長：中里まき子（岩手大学）

I 報告事項

1 各種委員会報告

1) 役員会

山本昭彦（岩手大学）支部長より、広島大学で行なわれた役員会等に関して、

- ・ 会員の減少についての対策を検討しなければならない
- ・ 学会奨励賞選考委員会で奨励賞にルソーの研究で土橋友梨子氏、Jean Julienの研究で中筋朋氏が受賞した
- ・ この奨励賞は40歳以下の会員を対象としており、他の支部の会員も含めて、自薦、他薦をお願いしたい
- ・ その他、新しい学会誌を作る

との報告があった。

2) 幹事会

阿部宏（東北大学）支部代表幹事より、3回幹事会があり、報告事項は大会時の資料や学会ニュースですべて報告されるため、それらと重複するものの、

[報告事項]

- ・ 6月16日の日仏関連学会連絡協議会に会長と幹事長が出席し、日仏会館学術研究助成の募集のアナウンス（cf.本会ホームページ）があった
- ・ 7月12日にスタージュ委員会が行なわれた
- ・ 科研費プロジェクトチームの立ちあげがなされた
- ・ 8月15日に英文学会と独文学会と共同で学術振興会へ科研費に関する申し入れを行った（理系中心の傾向の是正等）
- ・ 会員名簿の印刷業者を変更して60万円以上が削減された
- ・ 2015年秋に、日仏美術学会、日本フォーレ協会と合同で国際シンポジウム「芸術照応の魅惑 — 近代フランスにおける文学、美術、音楽の交差」を開催する

[協議事項]

- ・ 新しい学会誌のタイトルは *Littera*、副題が *Revue de langue et littérature françaises* に決まり、この雑誌はフランス語のみを扱い、学会発表とは関係なく完全投稿制で2015年1月に原稿募集をして、4月末に原稿締め切りとなる
- ・ 従来型の日仏両言語の混合誌については、従来どおり学会発表をもとに審査が行われて論文掲載となる
- ・ 本会会則の変更について、海外在住の会員については支部所属を要しないとすべきとのことであったが、会則の中に該当する条文があり、議題取り下げとなった

- ・学会会員数の減少（最大時 2000 人が 1200 人に減少）について、会費滞納 2 年で自動退会となる会員が多いことから対応策が検討された
- ・日仏開会で事務局借料がかさむことから、フランス語教育学会からの申し入れで共同で事務局を借りることを検討している
- ・2015 年春季大会は明治学院大学で 5 月 30 日（土）31 日（日）に行なわれ、秋季大会は京都大学で 10 月 24 日（土）25 日（日）に、2016 年春季大会は学習院大学（仮決定）で行なわれる

との報告があった。

3) 支部運営委員会

山本支部長より、支部運営委員会を 7 月 2 日に岩手大学で行い、年間スケジュール、支部大会の準備、支部補助金、本会学会誌の刊行、次年度以降の支部大会開催校、支部会員名簿、支部役員の任期などについて検討し、その後、メール会議にて、支部大会での学生の発表への交通費補助について決定したとの報告があった。

4) 渉外委員会

坂巻康司（東北大学）委員より、2013 年秋の学会では委員会が開かれなかったこと、フランス政府文化使節が廃止されたため渉外委員会の仕事が減ったこと、2014 年春の大会に関して Martine REID 氏の特別公演へ謝金を支出したこと、渉外委員会の務内容に関連して、講演者の謝金については渉外委員会がその承認から支払いまで全て責任を持って（委員長が）行うこと、謝金の申請にあたっては、講演者に、申請書とともに講演者の略歴と業績書及び推薦者の提出を義務づけることを確認した。またフランス政府文化使節がなくなったものの、本会 HP の謝金申請の説明文中に文化使節に関する記述が残っていたので、それをなくしてもらったとの報告があった。

5) 語学教育委員会

横井雅明（岩手大学）委員が欠席のため、後藤尚人運営委員より、以下の報告内容が代読された。

-----↓ ここから ↓-----

語学教育委員会の春季委員会は、5 月 24 日（土）10 時より、お茶の水女子大学にて行われた。

議題：

1. 委員長、副委員長の選出：委員長に江花輝昭氏（獨協大学）、副委員長に傳田久仁子氏（関西外国語大学）が再任された。
2. スタージュ運営委員会への出席委員 2 名の選出について：江花氏、福田氏を選出した（この委員は原則として関東支部から選出することとなっている）。なお、畠山氏がすでに別経路でリクルート済みである。
3. 今年度の活動方針について：次回アンケート実施のために、各支部管轄の大学の連絡先、組織名称等の変更の有無を確認することとした。
4. その他：なし

秋季委員会は、10月25日（土）10時より、広島大学にて行われたが、横井は欠席した。後日、委員長に確認したところ、特に議題はなかったとのこと。来年度以降については執行部の意向を確かめる必要があるが、とりえあえず継続ということになりそうである。

----- ↑ ここまで ↑ -----

6) 研究情報委員会

翠川博之委員より、cahierの編集について、14号を9月に発行した後、委員会では次号の発行に向けて編集作業を進めている。学会誌の再編に関することとして、完全投稿制のフランス語誌と、従来型の日仏混合誌の2本立てとし、年に1冊ずつ刊行し、同時にWeb上でも公開する。2本立ての学会誌が順調に発行されるまでは、移行措置的期間を設け、混合誌を従来どおり発行する。

なお科研費プロジェクトチームの答申では、完全投稿制のフランス語誌には学術論文のみならず、特別公演や国際シンポジウム、ワークショップ等の原稿、研究紹介や書評なども掲載し、将来的には総合的な学術誌の形態をめざすとされており、cahierの内容が学術誌に吸収されることにもなるので、研究情報委員会では今後のcahierのあり方についてメールで検討を重ねてきた。研究情報委員会が提起した疑問や意見については、更に科研費プロジェクトチームが検討し、順調に行けば12月に出される学会ニュースで会員に周知される予定との報告があった。

7) 広報委員会

宮本直規（東北学院大学）委員が欠席のため、後藤尚人運営委員より、以下の報告内容が代読された。

----- ↓ ここから ↓ -----

【広報委員会報告事項】

- ・ 先の広島大会の学会ニュース148号の発行に向けて現在、作業を進めております。
- ・ ホームページへの掲載にあたっては、定められた投稿形式に則ったもののみ受け付けることになっていきますので、ご注意下さい。

----- ↑ ここまで ↑ -----

8) 学会のあり方検討委員会

佐野敦至（福島大学）委員より、会員減少に伴う将来の学会のあり方について検討するようにと総会から諮問があり、春の大会で委員長から報告し、既に皆さまのところに知らされているので内容については省略するとの報告があった。

9) 監査

大谷尚文監査より、事務局から東北支部の会計に関する書類が送られ、収入・支出とも適切に会計処理が行われていることを確認したとの報告があった。

2 支部会誌編集委員会報告

辻野稔哉（秋田大学）運営委員より、支部会誌Nord-Est第7号を6月2日にWeb版で刊行した。刊行が遅れたことをお詫びする。第8号は投稿締め切りが1月末、4月半

ばに Web 版を刊行し、7・8号合併号の冊子体を5月末に刊行の予定との報告があった。

3 支部会員の登録状況

後藤尚人（岩手大学）運営委員より、資料1に基づき、普通会员52名、学生会員2名の計54名の会員がいること、そのうち支部のみ会員が3名で、本会会員名簿2014/2015に記載のない方が5名【←6名の間違い】いるとの報告があった。

4 その他

中里議長より他に報告事項の有無を確認したが、なかった。

II 協議事項

1 役員の選出について

1) 役員に関する支部規約の確認

中里議長より、資料2に基づき支部規約第6条及び運営細則第1条&第2条を確認した。（今回選出される役員の任期は、2015年5月31日の本会総会翌日から始まる。）

2) 役員及び任期の確認

後藤運営委員より、資料3に基づき役員の任期を確認するとともに、支部代表幹事、運営委員2名、研究情報委員、学会のあり方検討委員、監査2名を選出する必要がある旨、確認した。

3) 支部代表幹事の選出

中里議長より、運営細則第1条④に基づき運営委員会へ推薦を求め、山本支部長から、熊本哲也（岩手県立大学）氏が推薦された。

続いて、中里議長より、運営細則第1条⑤により、会員へ立候補を求めたが、立候補者はおらず、熊本哲也氏が支部代表幹事に選出された。

4) 運営委員の選出

中里議長より、運営細則第1条④に基づき運営委員会へ推薦を求め、山本支部長から、会計担当として中里まき子氏、総務担当として阿部いそみ（東北文教大学短期大学部）氏が推薦された。

続いて、中里議長より、運営細則第1条⑤により、会員へ立候補を求めたが、立候補者はおらず、中里まき子氏と阿部いそみ氏が運営委員に選出された。

5) 研究情報委員の選出

中里議長より、運営細則第1条④に基づき運営委員会へ推薦を求め、山本支部長から、翠川博之氏を再任願いたい旨の推薦があり、翠川氏が選出された。

6) 学会のあり方検討委員の選出

中里議長より、運営細則第1条④に基づき運営委員会へ推薦を求め、山本支部長から、山崎冬太氏の推薦があり、山崎氏が選出された。

7) 監査2名の選出

中里議長より、運営細則第1条④に基づき運営委員会へ推薦を求め、山本支部長から、大谷尚文氏及び阿部宏慈（山形大学）氏を再任願いたい旨の推薦があり、大谷氏及び阿部宏慈氏が選出された。なお、阿部宏慈氏は現在山形大学の理事を務めておられるため大学の人事課と相談して支障がなければ引き受けるとのこと。

2 支部規約の改正について

山本支部長から、資料4に基づき、役員に欠員が生じた際の対応について、支部規約には規定がない（本会会則には欠員に関する条文がある）ため、定めておきたい旨の説明があり、質疑を経て、提案どおり規約の改正が認められた。

3 次期開催校について

次期開催校について、山本支部長から、石巻専修大学で開催したい旨の提案があり、承認された。続いて、大谷氏より、11月7日（土）に開催したい旨の挨拶があった。

4 その他

後藤運営委員より、改正が認められた支部規約については、本日付で施行したい旨の説明があった。

山本支部長より、フランス語教育の国内スタージュが2015年の3月24日から27日で、応募が12月1日から1月10日である旨のアナウンスがあった。

中里議長より他に報告事項の有無を確認したが、なかったため、総会終了が宣言され閉会となった。